

(報告事項)

議員協議会資料
7. 11. 20
ス ポ ー ツ 部

松本マラソンの継続可否について

1 趣旨

松本マラソン実行委員会（以下「実行委員会」という。）及び一般財団法人長野陸上競技協会（以下「長野陸協」という。）が主催し、平成29（2017）年から開催してきた松本マラソンについて、松本マラソンにおける不正な会計処理検証委員会（以下「検証委員会」という。）の検証結果等を基に、これまでの検証を行いましたので、その結果及び松本マラソンの継続可否について報告するものです。

2 経過

7. 5. 2 議員協議会で、松本マラソンにおける不正な会計処理について
報告するとともに、今後の対応を協議
6～ 検証委員会による検証（計10回開催）
8. 5 検証委員会が、市長に検証結果報告書を提出
21 議員協議会で、検証結果報告書の概要を報告
9～ 検証委員会からの提言を基に庁内関係部局で検討
11. 5 松本マラソンの継続可否について庁内会議において協議

3 松本マラソンの継続可否についての検討結果（詳細は別冊のとおり）

以下の理由から総合的に判断して、松本市で今後も継続してフルマラソンを開催することは難しいため、松本マラソンは終了することとします。

- (1) ランナーが求めるコース設定が難しいこと及び近県の人気大会と開催時期が重なっていることから、エントリー数の確保が難しい。
- (2) エントリー数の減少で参加料収入が確保できないため、赤字が続いており、今後も収支改善が見込めない。
- (3) 検証委員会からの再発防止策及び提言への対応として契約方法の見直し及び事務局体制の見直しを想定した場合、職員の増員（正規職員3名程度）が必要となるが、令和10年の国スポ・全障スポを担当する職員の増員が必要となるため、上記のような人員の確保が難しい。
- (4) 松本マラソンを開催しない場合でも、補完できるスポーツイベント及び大会が開催されている。

4 今後の進め方

- (1) 松本マラソンの終了に伴い、実行委員会は解散する方向で調整します。
- (2) 解散に伴う事務手続の詳細については、決まり次第、改めて経済文教委員協議会に報告します。